

運動広げ 秘密保護法なくせ!



秘密保護法廃止を訴える佐々木憲昭衆院議員と愛知の本村伸子県常任委員＝7日、名古屋市

「大運動」目標達成へ 愛知・春日井 柳沢けさみ県議候補 10人の党員拡大目標を達成

12日、柳沢候補と鷹来支部のMさんが入党をよびかけた33歳の女性が入党しました。柳沢候補は自らたてた「大運動」目標の10人を達成しました。

女性はMさんの知り合いで、党員のお母さんも一緒に話をしました。「母からも世代交代してといわれています」と快く入党申し込み用紙に記入してくれました。

この女性は選挙のときも幼稚園のママに支持拡大や署名など積極的にしてくれていました。

オスプレイ計画中止、浜岡原発廃炉を 党静岡県委が政府交渉

党静岡県委員会は5日、オスプレイ計画中止や浜岡原発廃炉、地震対策や医療の充実、全国学力テスト廃止などの要求で政府と交渉しました。より大介県議候補(葵区)ら11人が参加。佐々木憲昭衆院議員が同席しました。

ブラッドパッチ療法の保険適用

脳脊髄液減少症の治療として有効なブラッドパッチ療法(平成24年6月から先進医療として一部保険適用)の保険適用について、厚労省は平成26年4月に向けて検討中と回答。労災保険(厚労省)と児童生徒の学校での事故による災害共済制度(文科省)の給付についてもそれぞれ健康保険の対象部分の対象になると回答がありました。

また、医療費が県平均より低い川根本町の後期高齢者医療制度の保険料を激変緩和以後も軽減することについて、恒久的措置として離島など医療の確保が著しく困難である地域およびこれに

準ずる地域として広域連合が認める地区については不均一保険料を設定することが可能と回答がありました。

原発事故でのヨウ素剤配布

原子力規制庁は、原発事故にかかわる安定ヨウ素剤の配布について、配布方法や服用についての解説書を作成し、自治体や医療機関に伝えたことや5キロ圏内は事前に各戸に配布することになっており、その周辺の地域でも配布できると答えました。

お茶の凍霜害防止、共済制度改善

お茶の凍霜害防止の防霜ファンへの助成要件の緩和について農水省は「静岡はお茶の特産地で凍霜害地域なので新規事業を作りたい」と回答。また、お茶を栽培し、自ら加工する農家の茶共済への加入について「加工業者が加入できるようにデータの工夫を考えている」と回答がありました。

浜岡原発廃炉、オスプレイ配備反対

浜岡原発廃炉について、経産省は「現在の政府の方針は規制庁が安全を判断した原発は再稼動することなので国として廃炉を表明することは難しい」と回答しました。

オスプレイのキャンプ富士への飛来・配備・訓練の計画中止について、防衛省は「米政府からの『接受国通報』では米軍キャンプ富士への配備は触れられていない。運用(飛来)については環境レビューで岩国とキャンプ富士が触れられている。いつ飛来するかはわからないが情報収集に努め情報が得られれば住民に速やかに伝える」と回答。一方、日米安保体制のなかで米国から日本側に通告する義務はなく、運用の本身は明らかにしないなど情報提供のハードルは高いと述べました。

キャンプ富士の早期全面返還について防衛省は、「キャンプ富士は訓練の重要な施設、現時点で返還は困難である。一方、使用協定で返還するといっているのので引き続き返還について米側と調整する」と回答しました。